高松市立香南小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自分や人やふるさと香南を愛する子どもを育てる

【本校の現状と課題】

- ① 「新体力テストの数値分析の結果」より
 - 男女ともに反復横とびの記録が低く、ほとんどの学年で県平均を下回っている。
 - 男女ともに握力の記録が低く、ほとんどの学年で県平均を下回っている。
- ② 「子どもの実態」から
 - 校区が広く、保護者の送迎で登下校している児童が多い。
 - 休み時間には鬼遊びやドッジボールなどをして運動場で遊んでいる児童が多い。また、スポーツ少年団の活動が盛んで、土日に練習に参加している児童も多い。
 - 一方で、運動をすることを肯定的に捉えられず、図書室や教室で過ごしている児童もいる。運動をする児童としない児童の二極化が顕著になってきている。

【取組み】

水泳・陸上クラブの充実

6月から10月の放課後の時間に、水泳・陸上クラブを行っている。水泳クラブの参加者を25m泳ぐことのできない児童に限定することで、一人ひとりに丁寧な指導ができるようにする。水泳を苦手とする児童が、水泳の楽しさや達成感を感じられるようにしたい。陸上クラブに関しては、自己ベスト更新を目指して取り組ませる。記録の伸びがわかるようにすることで、自分の成長を感じられるようにする。

朝のチャレンジタイム

12月から2月の朝の時間に、体力づくりチャレンジタイムの時間を設定する。朝の時間に継続してなわとび運動や持久走を行うことで、学校全体で児童の筋力や持久力が高められるようにする。また、さぬきっ子チャレンジへの申請を行うことで、チャレンジタイムに意欲的に取り組めるようにする。

運動遊びの充実

体育委員会の常時活動として、運動場倉庫の開放を行っている。ケンステップやタグ等の道具を自由に使えるようにすることで、充実した運動遊びができるようにする。また、冬季には体育委員会の児童がなわとびやマラソンに関するイベントを定期的に行い、楽しく体力づくりができるようにする。

なわとびクラスマッチ

2月になわとびクラスマッチを学年ごとに実施する。運動場にジャンピングボードを設置したり、なわとびカードを活用したりすることで、全学年の児童が意欲的になわとび練習に取り組めるようにする。歴代の記録を紹介することで、記録更新を目標に取り組めるようにする。

【目標】

- ① 「新体力テストの数値おける目標」
 - 反復横跳びで県平均を上回る学年を3学年つくる。
 - 握力で県平均を上回る学年を3学年つくる。
 - 新体力テストの結果において、総合判定がAもしくはB判定児童の割合が県の割合より上回る学年を3学年つくる。
- ② 「その他の目標」
 - 25m以上泳げる5・6年生を9割にする。